

平成26年度第2回芦屋すこやか長寿プラン21評価委員会 会議録

日 時	平成27年3月17日(火) 14:00~16:00
会 場	芦屋市保健福祉センター3階 会議室1
出席者	委員長 山本 隆 副委員長 松葉 光史 委 員 中川 壽一 進藤 昌子 柴沼 元 安宅 桂子 和田 周郎 天津 一郎 瀬尾 多嘉子 平馬 忠雄 中上 二郎 寺本 慎児 欠席委員 山下 訓 仁科 睦美 加納 多恵子 立花 暁夫 佐治 雅子 松本 圭司 事 務 局 福祉部高齢福祉課 木野 隆 高橋 和稔 下條 純 大野 裕司 福祉部介護保険課 奥村 享央 山本 直樹 浅野 理恵子 広瀬 香 岡本 将太 福祉部地域福祉課 長岡 良徳
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <非公開・部分公開とした場合の理由>
傍聴者数	0人

1 議事

- (1) 芦屋すこやか長寿プラン21(平成24年度~)について
- (2) 第7次芦屋すこやか長寿プラン21について

2 資料

- ・平成26年度第2回芦屋すこやか長寿プラン21評価委員会議事次第【資料1】
- ・第6次芦屋すこやか長寿プラン21現行計画達成状況について(平成24年度~)【資料2】
- ・事業実施状況について【資料3】

3 開会

山本委員の委嘱及び委員長選任

4 議事

- (1) 芦屋すこやか長寿プラン21(平成24年度~)について  
(事務局 高橋)

「高齢者を地域で支える環境づくり」について説明

(山本委員長)

ありがとうございました。ここで一旦質疑応答の時間とさせていただきます。

(中上委員)

1-2 地域発信型ネットワークの充実の救急医療情報キットの普及について、進捗状況の中に記載がないのは事業が終了したということですか。

(事務局 木野)

救急医療情報キットの普及につきましては、当初地域発信型ネットワークの中で地域に広めていきました。管理組合や地域の理事会のネットワーク作りのために配布しておりまして、ある程度行き渡っています。今後は個人個人に配布していきます。

現在までに9, 244個配布しております。

(中上委員)

この配布する対象者はどなたになるのでしょうか。

(事務局 木野)

当初、1個100円で理事会やマンション管理組合の方がまとめて購入し、配布しました。この100円は東日本大震災に寄附されるかたちになります。

(中上委員)

例えば自治会によって対応がまちまちであり、全世帯に配布する場合や、一人暮らしの方や希望のあった方だけに配布する場合があるのでそれは主旨が違うのではないのでしょうか。もともと市が全世帯に配布する考えだったか、一人暮らしの方や希望のあった方だけに配布する考えだったのかどちらなのでしょう。

(事務局 木野)

当初の目的は一人暮らしや高齢者世帯に限定するのではなく、地域のネットワーク作りのために配布しております。

(中上委員)

当初の目的はいくら配布すると「B」評価とする予定だったのですか。

9, 244個配布しているということで「B」評価にするなら進捗状況に記載したほうが良いと思います。

(山本委員長)

ピンポイントで渡す方を指定しているのではなくて、地域を把握されている方に必要個数を配布し、その中で渡される側が選択されていると思います。普及されているかどうかは、一度、事務局で検証していただき次回報告いただけませんか。

(事務局 木野)

次回の委員会で分析して報告させていただきます。

(進藤委員)

普及率はわかりませんが、呉川町での渡し方は自治会から高齢の方に渡してくださいと民生児童委員と福祉推進委員に渡されました。訪問の際にお渡ししました。

あとは呉川町だよりに必要な方がいらっしゃれば連絡くださいと記載しました。

(山本委員長)

まさしくそれが当初の主旨だったと思います。地域力を強めるために地域で活動リーダーをされている方に渡されたのだと思います。

(中上委員)

民生児童委員と福祉推進委員は地域全体を把握されていますが、自治会や老人会は加入している世帯でしか活動できないのです。費用負担についても加入していない世帯分を配布するなら誰が負担するのか明確にされていません。

そのあたりの主旨がはっきりしていないのです。

(山本委員長)

政策と目的は必ずしも一致しているわけではないので、やはり一度事務局で検証いただくということによろしいでしょうか。

他に評価に対してでも結構ですのでご質問ありませんでしょうか。

(平馬委員)

1-1 高齢者の総合相談体制の充実の高齢者生活支援センターの周知、広報活動の強化が「A」評価となっていますが、26年3月実施のすこやか長寿プラン見直しのためのアンケート調査結果では、全体の半分以下の数字なのですがこれで課題達成ということでしょうか。

引き続き課題に取り組んでいて、予定通り進行しているので「A」評価にしましたということですか。

(事務局 木野)

おっしゃる通りです。

(山本委員長)

認知度の評価はとても難しいので、着実に数字が上がっているということで「A」評価とされているということによろしいでしょうか。

今後は数値が下がらないように取り組んでいただきたいです。

(事務局 下條)

「社会参加の促進と高齢者にやすらぎのあるまちづくり」について説明

(山本委員長)

ありがとうございます。何かご質問ご意見はありますか。

(和田委員)

2-1 生きがいづくりの推進のところで老人クラブで新たに企画活性化委員会を立ち上げたという具体的な内容と左側では会員数が減少していると記載されているので「B」評価でいいのでしょうか。

(事務局 木野)

企画活性化委員会は、地域の単位クラブの中には高齢化が進んでいるところがあります。60歳ぐらいの方がなかなか加入されないところを老人クラブ連合会の方が地域全体を活性化させるために立ち上げました。老人クラブの方が主導でがんばっていらっしゃるので「B」評価とさせていただきました。

(柴沼委員)

全国的な問題ですが、地域の単位クラブの高齢化が進んでいます。他の原因は今まで世代間交流をしていなかったという点だと思います。子どもの時代からそのような交流があればもっと伝わるのではないかと思います。現在、世代間交流を進めるために県立芦屋高校と交流をしようと考えています。老人クラブや地域社会がどのようなものか伝えていこうと考えています。

他の問題では、次の担い手がいないために老人クラブがなくなってきています。芦屋川カレッジの講座の中に地域社会で活動するきっかけを説明して欲しいとお願いしております。

それと、バリアフリーを推進いただくのはいいのですが、健康体操でつまずきを防止することを同時に進めていただきたいです。

老人クラブが単独で活動するのではなく、自治会・民生児童委員と協働しないとイケません。それも地域で協働しているところとしていないところがありますので、

行政でまとめて協働できるように進めていただきたいと思います。

(山本委員長)

老人クラブも量的・質的に変化の時期を迎えています。その中で「B」評価でいいのかというご質問にお答えいただけたのだと思います。

今後は協働する計画をお持ちなので、行政にも御協力をお願いしたいです。

(中上委員)

進捗状況の中で企画活性化委員会を立ち上げたというのは老人クラブの中で立ち上げたのですか。

(柴沼委員)

老人クラブの中だけで立ち上げています。

(瀬尾委員)

ナルクでは芦屋市内の会員が240名で平均年齢が72歳ほどです。会員の半分ぐらいが芦屋川カレッジの卒業生です。芦屋川カレッジの卒業生の方を積極的に勧誘しているわけではないのですが、友達どうしのつながりで15年間で240名になりました。

老人クラブも楽しい活動等を発信していけば会員は増えると思います。

(山本委員長)

他にご意見がなければ次に移ります。事務局からお願いします。

(事務局 浅野)

「総合的な介護予防の推進」について説明

(山本委員長)

ありがとうございました。何かご意見はありますか。

(松葉副委員長)

3-1 地域支援事業の推進で達成割合「A」の介護予防センターの活用促進ですが、利用者が伸びておりますので「A」評価でいいと思います。次年度の計画はどうなっていますでしょうか。

(事務局 奥村)

継続する予定です。詳細が決定次第、広報で案内させていただきます。

(山本委員長)

他にないようですので事務局に最後の項目の説明をお願いします。

(事務局 広瀬)

「介護サービスの充実による安心基盤づくり」について説明

(事務局 山本)

「低所得者への配慮」について説明

(山本委員長)

ありがとうございました。これで本日の事務局からの説明がすべて終了しました。最後の項目についてご質問はありますか。

(山本委員長)

ご意見がないようですので、最初に戻りまして全体で何かご質問はありますか。次の議事の次期すこやか長寿プランの策定の進行状況について説明をお願いします。

(事務局 木野)

次期すこやか長寿プランの策定の進行状況について説明

(山本委員長)

- (3) その他について事務局から説明ございますでしょうか。
- (事務局 木野)
- 事務局からはございません。
- (山本委員長)
- それでは、平成26年度第2回の評価委員会を終了します。

閉 会